



お知らせコーナー

都市計画GIS普及セミナーに参加しました。

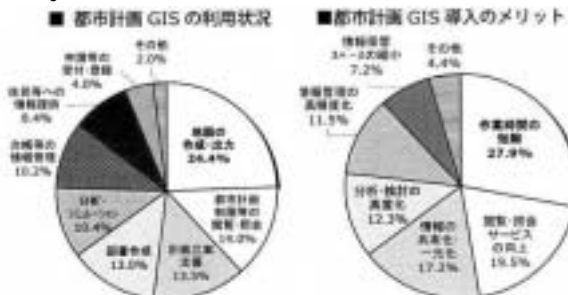
都市計画分野におけるGISの導入促進と高度利用を図るために開催された、都市計画GISセミナー（財団法人都市計画協会主催）に参加しましたので、そこで得られた情報を提供します。

現在、国の各種情報化施策により、様々な分野で情報化が進められ、行政の効率化・高度化、住民サービスの向上などが図られてきています。そのような中、都市計画分野では、早い段階から都市計画GISの導入が進められておりますが、平成14年のアンケートによると、その導入状況は、都市計画区域を有する市町村の1割程度にとどまっているのが現状です。



出典：都市計画GISに関する自治体アンケート調査、平成14年3月、国土交通省都市・地域整備局都市計画課

この原因の一つには、都市計画GISの導入効果が地方公共団体の都市計画実務担当者に十分理解されていないことが考えられることから、行政担当者を対象とした技術的助言となる『都市計画導入ガイドンス』が策定され、都市計画協会から発行されておりますので、業務の参考としてください。



出典：都市計画GISに関する自治体アンケート調査、平成14年3月、国土交通省都市・地域整備局都市計画課

また、都市計画の情報のみならず、固定資産税や環境・防災情報などと相互利用が可能な統合型GISを導入する動きも進んでおり、ベースとなる地図の共用化によるコスト縮減効果や視覚的にわかりやすい位置情報の提供と言った行政サービスの向上などが期待できます。

セミナーでは、最近の事例として大阪府寝屋川市及び神奈川県横須賀市から、導入したGISの概要紹介が行われました。

大阪府寝屋川市
コストを抑えた都市計画GISの事例
神奈川県横須賀市
統合型GISの事例

両市とも、都市計画GIS導入のメリットとして、住民自らがHPや情報端末を利用して、用途地域や都市施設の決定概要を確認できることから、窓口対応時間が低減したことをあげていました。

都市計画GISとは・・・

GISとは、地理的位置や空間情報を持ったデータを処理、管理、分析して、その結果を表示するコンピューターシステムです。身近なところでは、カーナビゲーションシステムもGIS技術の一つです。

都市計画GISとは、都市計画分野で活用される地理情報システムで、都市計画に関する情報の管理・提供などに利用され、都市計画行政における業務支援ツールとして位置づけられています。